



2012年3月27日

各位

川崎バイオマス発電株式会社

中央卸売市場北部市場で発生するパレット材を発電用燃料として利活用

川崎バイオマス発電株式会社（社長：戸川裕昭 本社：神奈川県川崎市川崎区）が運営する川崎バイオマス発電所は、川崎市の仲介により川崎中央卸売市場北部市場（宮前区）にて発生する木製パレットを発電用バイオマス燃料として有効利用する取り組みを開始しましたのでお知らせ致します。

川崎バイオマス発電所（33,000kW）は、木質バイオマスを燃料とする発電所として、昨年2月に営業運転を開始いたしました。

この度、川崎中央卸売市場北部市場にて発生する木製パレットを、同発電所に隣接する燃料供給会社であるジャパンバイオエナジーにおいて加工し、バイオマス燃料として発電用途向けに使用することとなりました。

これは、川崎市が進める「川崎エコタウンにおける資源循環型社会の構築」に貢献するものであります。

川崎バイオマス発電所は首都圏に位置する都市型バイオマス発電所として、これからも同様な取り組みを通じ、①資源の有効利用、②地球温暖化対策などの環境面への貢献、③クリーンな電気の安定供給に寄与して参ります。

1. 川崎バイオマス発電所概要

- (1)所在地所 神奈川県川崎市川崎区扇町12番6号
- (2)発電規模 33,000 キロワット (kW) バイオマス専焼設備としては国内最大
- (3)燃料 木質バイオマス+食品残渣系バイオマス燃料
- (4)主要設備 発電設備（循環流動層ボイラ、タービン発電機、冷却塔方式）
大気環境設備（排煙脱硫設備、排煙脱硝設備、除塵装置）
排水処理設備
- (5)CO2削減効果 年間12万t 2万2千世帯分に相当

2. 川崎中央卸売市場北部市場からのパレット材利用

- (1)利用開始 2012年3月
- (2)数量 月間約10トン（1万2千キロワット時の発電が可能）
一般世帯（300キロワット時/月）として40世帯分の電力を賄う
CO2削減効果 6600kg



3. ご 参 考

<バイオマス発電会社>

社 名	川崎バイオマス発電株式会社
社 長	戸川 裕昭
本 社	神奈川県川崎市川崎区扇町 12 番 6 号
資本金	5 億円（住友共同電力(株) 265 百万円 住友林業(株) 170 百万円 フルハシ EPO(株) 65 百万円）
出資比率	住友共同電力(株) 53.0% 住友林業(株) 34.0% フルハシ EPO(株) 13.0%
業務内容	バイオマス発電事業 電力の販売先：JX 日鉱日石エネルギー(株) 東京電力(株)



川崎バイオマス発電所 外観

以上

<お問い合わせ先>

川崎バイオマス発電株式会社 担当 村上 TEL 044-201-6775